

精神保健福祉士・社会福祉士による「人権に関する理解と犯罪等防止に関する認識」の講話について

令和7年3月31日、警察本部に西川口榎本クリニック副院長（精神保健福祉士・社会福祉士）齊藤章佳氏をお招きし、本部長以下全職員を対象として、「人権に関する理解と犯罪等防止に関する認識」と題した講話をいただきました。

講話参加者からは、「自分の痛みに鈍感な人は、他人の痛みにも共感できないため、自分が感じたことを表現することが大事という言葉が印象に残った。」「依存症の背景にストレスがあることを踏まえ、部下をはじめ周囲の職員が人知れずストレスを抱えていないか、日々の会話等の中で気にかけるようにしていきたい。」などの感想が聞かれました。

また、同日開催した改革推進委員会にも御出席いただき、人権等に関する理解不足が組織や個人に与える影響、職員の理解を深めるための教養の在り方等について、本部長、各部長等と意見交換を行いました。

